

問1 ごみを減らして地球の環境を守るための取り組みとして、リデュース・リユース・リサイクルに、「いらぬものを断る」という意味の「リフューズ」を加えた4つの考え方を何と呼びますか。

1. 4R (フォーアール) 2. 4T (フォーティー) 3. 4G (フォージー) 4. 4S (フォーエス)

問2 お店で買い物をするとき、お店の人からのレジ袋をこたわることは、4Rのうちのどれにあてはまりますか。

1. リデュース 2. リフューズ 3. リサイクル 4. リユース

問3 エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機などの大きな家電製品を捨てる時、法律によって決められた正しい捨て方はどれですか。

1. 販売店に引き取りを依頼する 2. 地域の粗大ごみとして出す 3. 自分で細かく壊して燃えるごみに出す 4. 近くの公園に置いておく

問4 なぜ発電所でつくられた電気を、そのまま家庭に送らずに、一度「変電所」を通す必要があるのでしょうか。

1. 電気をためておくため 2. 電気を別のエネルギーに変えるため 3. 電気をきれいに掃除するため 4. 電気の電圧を使いやすく調整するため

問5 浄水場では、水の中の小さな汚れを取りのぞくために、砂などの層を通してきれいにする「ろ過」という作業を行います。では、きれいになった水を各家庭に届ける直前に一時的にためておく場所を何といいますか。

1. 貯水池 2. ダム 3. 下水処理場 4. 配水池

問6 清掃工場で、ごみを燃やしたときに出る熱は、どのように利用されていますか。

1. 電気を作ったり、温水プールを温めたりする 2. 畑にまくための肥料にする 3. ごみを燃やすための燃料にする 4. 新しいプラスチック製品の材料にする

問7 私たちが使った水を、わざわざ下水処理場できれいにしてから川や海にながすのはなぜですか。その一番の理由を選びましょう。

1. 地下の温度を一定に保つため 2. 雨水をためて飲み水を作るため 3. 川や海の生き物や、水のきれいな環境を守るため 4. 下水道管のつまりを防ぐため

問8 私たちが家庭で使う水を大切に守るために、日常生活の中で自分から進んでできる「節水」の工夫として、もっともふさわしいものはどれですか。

1. 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める 2. トイレに、溶けにくいゴミをいっしょに流す 3. 洗濯の回数を増やして、いつもきれいな水を使う 4. 庭にまく水として、新しい水道水をたくさん使う

問9 石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料をもやして電気をつくる方法を何といいますか。

1. 水力発電 2. 火力発電 3. 太陽光発電 4. 風力発電

問10 発電所でつくられた電気を、家庭や工場に届けるために電圧（電気の勢い）を下げる役割をしている場所はどこでしょう。

1. ダム 2. 発電所 3. 送電線 4. 変電所

問11 ごみを捨てる時に、スチール缶やペットボトルなどを種類ごとに分けて出す「分別（ぶんべつ）」をするのはなぜですか。

1. ごみを集めるトラックの燃料が安くなるから 2. 燃えるごみの量が増えて、燃やすのが簡単になるから 3. 分別するとごみの全体の重さが軽くなり、持ち運びやすくなるから 4. ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから

問12 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何といいますか。

1. リユース 2. リフューズ 3. リデュース 4. リサイクル

問13 清掃工場でごみを燃やす、一番の目的は何でしょうか。

1. ごみの体積を小さくして、埋め立てる場所を長持ちさせるため 2. ごみから有害な物質だけを取り出すため 3. ごみを燃やすことで、町を明るくするため 4. ごみを燃やして電気を作るため

問14 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。

1. 肥料として農家で使われる 2. また燃やして電気を作る 3. 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる 4. そのまま川や海に流す

問15 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。

1. ごみを外に捨てるため 2. ごみを細かく分けるため 3. ごみを適切に処理するため 4. ごみを家まで届けるため

問16 工場から出る「工場排水」について、工場が守らなければならない大切なルールは何でしょう。

1. 工場から出る排水は、すべて地下に深く埋めて捨てる 2. 工場排水は、どんなに汚れていても川へ直接流す 3. 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す 4. 工場が支払う税金で、下水処理場をいつも動かし続ける

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 1 4R（フォーアール）	環境を守るために資源を大切にする取り組みとして、ごみを減らすための3つの言葉（リデュース、リユース、リサイクル）に、いらぬものをもらわない・断るという意味の「リフューズ」を加えたものを4R（フォーアール）と呼びます。
問2	答え 2 リフューズ	リフューズとは、ごみになるものを最初から受け取らない、つまり「断る」ことを指します。レジ袋などを断ることは、ごみを増やさないための大切な行動です。
問3	答え 1 販売店に引き取りを依頼する	家電リサイクル法では、これらの大型家電は資源として再利用することが決められています。そのため、地域の粗大ごみとして捨てるのではなく、購入した店や買い替えをする店などに引き取りを頼み、メーカーが責任を持ってリサイクルする仕組みになっています。
問4	答え 4 電気の電圧を使いやすく調整するため	発電所でつくられた電気は非常に高い電圧のまま送られてくるため、そのまま家庭の電化製品に流すと故障してしまいます。そのため、変電所で安全に使える電圧に下げってから届ける必要があります。
問5	答え 4 配水池	浄水場でしっかりとよごれを落としてきれいになった水は、配水池という場所にためられます。そこから、たくさんの水道管を通して、みんなの家の蛇口まで水が運ばれていきます。
問6	答え 1 電気を作ったり、温水プールを温めたりする	清掃工場でごみを燃やすときに出る熱（余熱）は、発電をして工場や地域の電気として使われたり、温水プールや近くの施設にお湯を送って温めたりするのに利用されています。
問7	答え 3 川や海の生き物や、水のきれいな環境を守るため	使った水をそのまま川や海にながしてしまうと、水がよごれて生き物が住めなくなったり、環境が悪化したりしてしまいます。そのため、下水処理場でしっかりと汚れを取りのぞき、環境への負担を小さくしてから外にながす仕組みになっています。
問8	答え 1 歯をみがいている間は、蛇口をこまめに閉める	水を大切に使うためには、必要な分だけをむだなく使う心がけが大切です。歯みがき中に水を流しっぱなしにすると多くの水が無駄になってしまいます。ふろの残り湯を洗濯に利用したり、水が必要ない時には蛇口を閉めたりする小さな積み重ねが、大切な水資源を守ることにつながります。
問9	答え 2 火力発電	石油、石炭、天然ガスといった燃料を燃やすことで発生する熱エネルギーを利用して電気をつくる仕組みを火力発電と呼びます。他の発電方法と区別する重要なポイントです。
問10	答え 4 変電所	発電所では電気をつくりませんが、つくられた電気はそのままでは強すぎるため、変電所という場所で私たちが使いやすい電圧に下げた後、家庭や工場へ送られています。
問11	答え 4 ごみを資源として再利用し、捨てるごみを減らせるから	資源となるごみを正しく分別すると、それらを再び新しい製品の材料（資源）にすることができます。これにより、ごみとして燃やされたり埋め立てられたりする量を減らすことができるため、環境を守るための重要な活動となります。
問12	答え 4 リサイクル	一度バラバラにして原料の状態に戻すことがポイントです。そのままの形で繰り返し使う「リユース」と間違えないようにしましょう。
問13	答え 1 ごみの体積を小さくして、埋め立てる場所を長持ちさせるため	ごみをそのまま埋め立てると、すぐに埋め立てる場所がいっぱいになってしまいます。そのため、清掃工場でごみを燃やして体積を小さくし、埋め立て地の寿命を延ばすことが重要な役割の一つです。電気を作ることも行われていますが、それは燃やした時の熱を上手に活用する取り組みの一つです。
問14	答え 3 最終処分場（埋め立て地）に運ばれる	ごみを燃やすと、燃え残った灰が発生します。この灰の一部はセメントの材料などにリサイクルされますが、リサイクルできない残りの多くは「最終処分場」と呼ばれる埋め立て地に運ばれて埋められます。
問15	答え 3 ごみを適切に処理するため	私たちが日常生活で出すごみは、そのままにしておくと町が汚れてしまいます。しゅう集車で清掃工場へ集めることで、ごみを燃やしたりリサイクルしたりと、適切に処理して町を衛生的に保つことができるからです。
問16	答え 3 工場で汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流す	工場から出る排水には、普通の生活排水とは異なる汚れが含まれていることがあります。そのため、環境を守るためには、工場がしっかりと汚れを取りのぞく処理をしてから下水道へ流すというルール（責任）があります。